

活動資料 1 -行動宣言の発表-

2007年3月1日

世界腎臓デーにあたっての日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKDI)による行動宣言 〈慢性腎臓病(CKD)患者の予後と生活の質改善のための行動宣言〉

日本慢性腎臓病対策協議会(略称:J-CKDI、事務局:東京都文京区、理事長:菱田明)は、本年(2007年)3月8日の世界腎臓デーを機会に、〈慢性腎臓病(CKD)患者の予後と生活の質改善のための行動宣言〉を発表し、着実な活動を行うことを宣言いたします。本宣言は、3月11日に開催される世界腎臓デーと連携した慢性腎臓病啓発イベントで協議され、採択される予定です。

慢性腎臓病(CKD)患者の予後と生活の質改善のための行動宣言(全文)

日本慢性腎臓病対策協議会は、慢性腎臓病(CKD)患者の予後と生活の質を改善するため、様々な組織、団体、市民、患者と連携して、以下のような活動を進めてまいります

◆ 社会、患者、保険者に対する行動

1. 一般市民、患者、慢性腎臓病(CKD)対策に大きく影響を及ぼす分野の人々や団体、等を対象に、慢性腎臓病(CKD)対策の教育啓発キャンペーンを行う
2. 心臓血管障害(CVD)を含めた腎以外の臓器障害と慢性腎臓病(CKD)の関係を社会に広くアピールする
3. スクリーニング検査や慢性腎臓病が疑われる患者を評価するための単純明快な指針(診療ガイド)を作成して公表し、啓発活動をする

◆ 医療者(慢性腎臓病《CKD》医療を行う医師、コメディカル)に対する行動

1. 腎機能評価の標準化をめざして、GFR 推算式などを用いて慢性腎臓病(CKD)の評価方法に関する統一的な手法を普及させる
2. 腎機能検査(特に推算 GFR)の普及を進めるなど、検査室、医療提供者、社会に広く CKD の統一的な定義を受け入れてもらい、慢性腎臓病(CKD)対策を普及するための企画を立て実行する
3. 慢性腎臓病(CKD)と末期腎不全(ESRD)/心臓血管障害(CVD)の関連や、自然歴・治療効果について、関連学会などから継続的にデータを収集する
4. 慢性腎臓病(CKD)克服のために活動しているすべてのグループや団体を結集し、組織する

◆ 行政や企業に対する行動

国の健康政策の中に総合的な慢性腎臓病(CKD)対策を中心的課題として設定するよう働きかけるとともに、地域や企業などでも健診などの施策に慢性腎臓病(CKD)対策を組み込むよう働きかける